

## デジタルHD ビデオカメラレコーダー

取扱説明書

HDR-MV1



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



安全のために → 裏面もあわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危険、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

## 「安全のために」の注意事項を守る

## 定期的に点検する

1年に1度は、ケーブル端子にほごりがたまっているいか、ケーブル端子に傷がないか、故障したまま使用していないいか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

カメラの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

## 万一、異常が起きたら

変な音・おいがいたら → 電源を切る  
煙が出たら → 電源を外す  
相談窓口に連絡する

裏面に相談窓口の連絡先があります。

## △危険 万一、電池の液漏れが起きたら

①すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や液体に引火して発火、破裂のおそれがあります。

②液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。

③液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水でを洗浄し、医師に相談してください。

④液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。



## はじめに

お買い上げいただきありがとうございます。

もっと詳しく知りたい  
(ミュージックビデオレコーダーアーカイブ)

「ミュージックビデオレコーダーアーカイブ」はオンラインで見るマニュアルです。  
さらに詳しい使いかたを知りたいときにご覧ください。



- ① サポートページにアクセスする。  
[http://www.sony.jp/support/manual\\_mvr.html](http://www.sony.jp/support/manual_mvr.html)
- ② サイト内で本機の型名を探して「ユーザーガイド(HTML)」を開く。  
型名は本機の底面をご覧ください。

### 付属品を確かめる

( )は個数

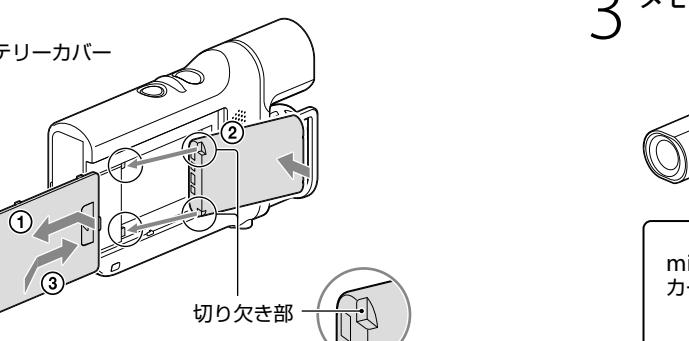
- 本機(1)
- USBケーブル(マイクロUSBケーブル)(1)
- リチャージャブルバッテリーパック NP-BX1(1)
- レンズキャップ(1)
- キャップストリング(1)
- 取扱説明書(本書)(1)

## バッテリーを入れる

### 1 バッテリーカバーを取り外す。

### 2 バッテリーを図の向きにして、取り付ける。

### 3 バッテリーカバーを取り付ける。



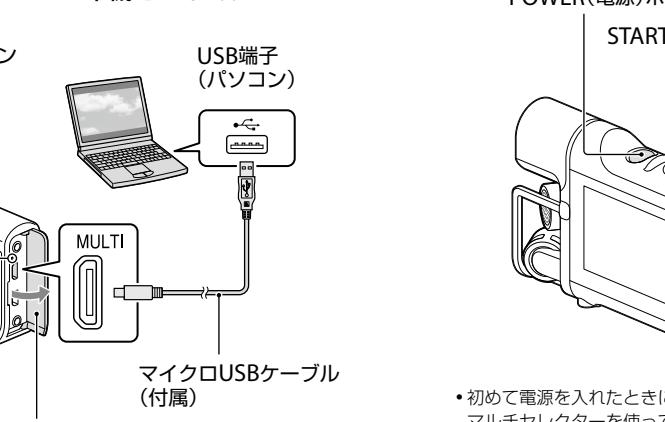
- ・メモリーカードを取り出すときは、メモリーカードを軽く1回押してください。
- ・microSDメモリーカード、microSDHCメモリーカード、microSDXCメモリーカード、"メモリースティックマイクロ" (Mark2) が使えます。
- ・すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

## 充電する

### 1 POWER(電源)ボタンを押して、本機の電源を切る。

### 2 本機の端子カバーを開く。

### 3 電源が入ったパソコンに本機をつなぐ。



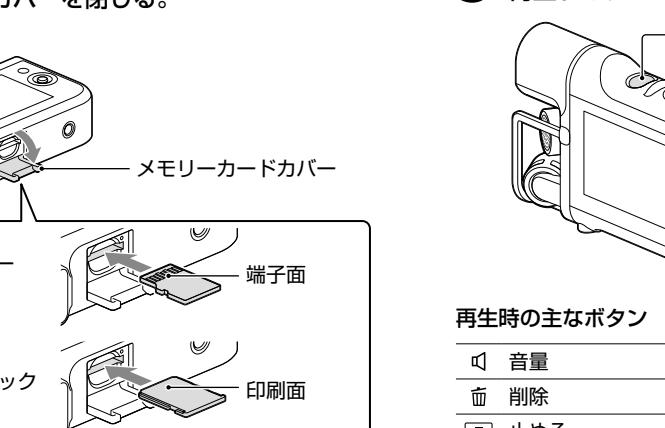
- ・充電にかかる時間は、パソコン接続時は約245分、ACアダプターAC-UD10(別売)接続時は約155分です。
- ・満充電からのおよその動画記録可能時間は130分(連続記録時)、75分(実記録時)、動画再生可能時間は210分です(お買い上げ時の設定)。

## メモリーカードを入れる

### 1 メモリーカードカバーを開く。

### 2 メモリーカードを図の向きにまっすぐ入れる。

### 3 メモリーカードカバーを閉じる。



- ・メモリーカードを取り出すときは、メモリーカードを軽く1回押してください。
- ・microSDメモリーカード、microSDHCメモリーカード、microSDXCメモリーカード、"メモリースティックマイクロ" (Mark2) が使えます。
- ・すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

## 記録する

### 1 POWER(電源)ボタンを押して、本機の電源を入れる。

### 2 START/STOPボタンを押して、記録を始める。 もう一度押すと、記録が止まる。



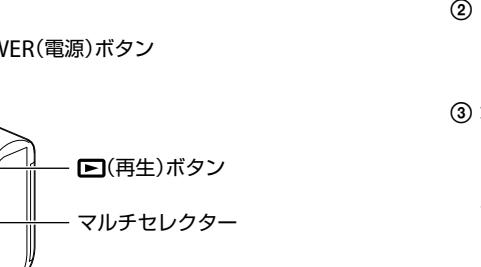
- ・初めて電源を入れたときには、日時設定画面が表示されます。  
マルチセレクターを使って設定してください。
- ・本機はMP4動画を記録できます。
- ・高感度マイクを搭載しているため、手持ち記録時はノイズ音が記録される場合があります。
- ・記録中は、液晶モニターが暗くなります(お買い上げ時の設定)。

## 再生する

### 1 POWER(電源)ボタンを押して、本機の電源を入れる。

### 2 □(再生)ボタンを押す。

### 3 再生したいコンテンツをマルチセレクターで選び、再生する。



### 再生時の主なボタン

- |       |             |
|-------|-------------|
| □ 音量  | ◀/▶ 前へ/次へ   |
| △ 切除  | ◎/◎ 早戻し/早送り |
| ■ 止める | ■/▶ 一時停止/再生 |

- ・メモリーカードを取り出すときは、メモリーカードを軽く1回押してください。
- ・microSDメモリーカード、microSDHCメモリーカード、microSDXCメモリーカード、"メモリースティックマイクロ" (Mark2) が使えます。
- ・すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

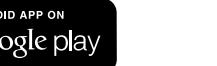
## スマートフォンに動画を転送する (Wi-Fi)

### 1 スマートフォンにアプリをインストールする。



#### Android 2.3以上 (NFCワンタッチご使用の場合はAndroid 4.0以上)

Google playから、PlayMemories Mobileを検索してインストールしてください。

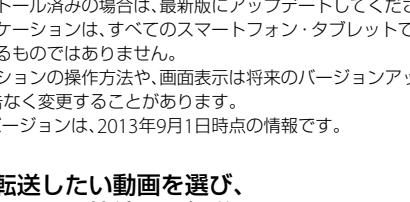


#### iOS 4.3以上 (NFCワンタッチはご使用できません)

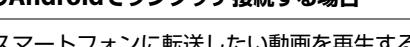
App Storeから、PlayMemories Mobileを検索してインストールしてください。



- ・PlayMemories Mobileの詳細は、こちらをご覧ください。  
<http://www.sony.net/pmm/>
- ・既にインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。
- ・このアプリケーションは、すべてのスマートフォン・タブレットで動作を保証するものではありません。
- ・アプリケーションの操作方法や、画面表示は将来のバージョンアップにより、予告なく変更することがあります。
- ・OSの対応バージョンは、2013年9月1日時点の情報です。



### 2 本機に表示されているパスワードを入力する(初回のみ)。



### 3 SSIDが正しく選択されていることを確認する。

### 4 PlayMemories Mobileを起動する。

## スマートフォンをリモコンとして使う (Wi-Fi)

### 1 本機の記録画面で、Wi-Fiを選択。

SSIDとパスワードが表示され、本機がスマートフォンから接続できる状態になります。

### 2 スマートフォンで本機に表示されているSSIDを選び、パスワードを入力する。

「スマートフォンに動画を転送する/NFCを使わずに接続する場合」の手順③と同じ操作を行います。

### 3 NFCを使わずに接続する場合

- ① 本機を再生モードにして、[MENU]→[編集・コピー]→[スマートフォン転送]→[カメラから選ぶ]を選択。
- ② 転送する動画を選び、✓(チェックマーク)をつけて[OK]→[OK]を選択。

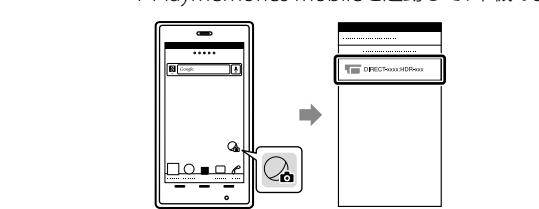
SSIDとパスワードが表示され、本機がスマートフォンから接続できる状態になります。

### 4 スマートフォンを操作する。

③ スマートフォンで本機に表示されているSSIDを選び、パスワードを入力する。

Androidのとき:

1 PlayMemories Mobileを起動して、本機のSSIDを選択。

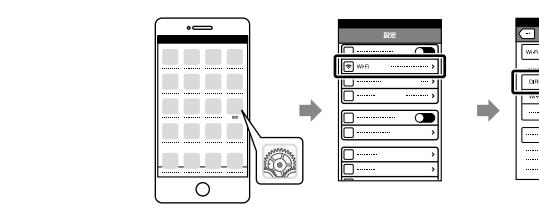


### 2 本機に表示されているパスワードを入力する(初回のみ)。



### 3 iPhoneのとき:

1 スマートフォンで[設定]→[Wi-Fi]の項目を選択して、本機のSSIDを選択。



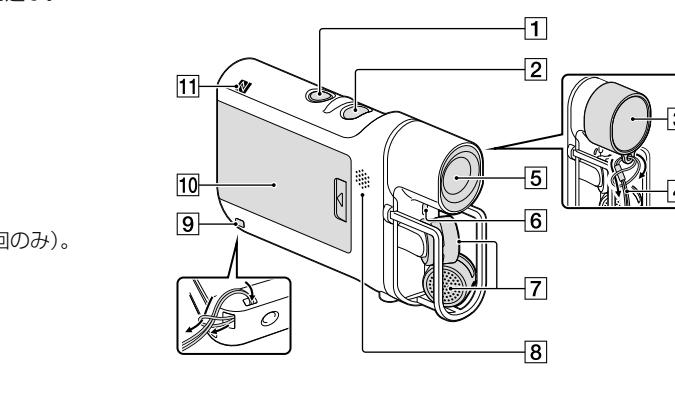
### 2 本機に表示されているパスワードを入力する(初回のみ)。



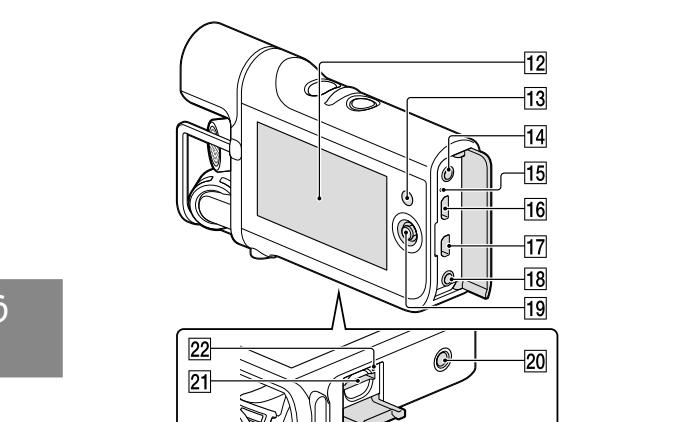
### 3 NFCが正しく選択されていることを確認する。

### 4 PlayMemories Mobileを起動する。

## 各部のなまえ



1 START/STOPボタン  
2 POWER(電源)ボタン  
3 レンズキャップ  
4 キャップストリング  
5 レンズ  
6 記録ランプ  
7 マイク  
8 スピーカー  
9 キャップストリング/ストラップ取り付け部  
10 バッテリーカバー  
11 N (Nマーク)  
NFC (Near Field Communication)は近距離無線通信技術の国際標準規格です。



12 液晶モニター  
13 □(再生)ボタン  
14 ▲(ヘッドホン)端子  
15 CHG(充電)ランプ  
16 マルチ/マイクロUSB端子  
この商品にはマイクロUSB規格に対応した機器をつなぐことができます。  
17 マイクロHDMI OUT端子  
18 LINE IN/OUT(マイク)(PLUG IN POWER)端子  
19 マルチセレクター  
20 三脚穴  
21 メモリーカードスロット  
22 メモリーカードアクセスランプ

## おすすめ機能

### 内蔵マイクの録音レベルを調節したい

記録画面で $\text{[ボリューム]$ を選択。

### 空調機器の音など、低音域の音を低減したい

[MENU]→[カメラ・オーディオ]→[♪オーディオ]→[ロー カットフィルター]を[入]にする。

### 音声をモニタリングしたい

ヘッドホン端子にヘッドホンを差し込む。ボリュームを 調節するには、記録画面で $\text{[ボリューム]$ を選択。

### モニタリング音声と液晶モニターの映像を 同期させたい

[MENU]→[カメラ・オーディオ]→[♪オーディオ]→[音声 出力タイミング]を[リップシンク]にする。

### 別売のMTRや外部マイクを使いたい

本機のLINE IN端子にMTRまたはマイクを接続する。 [外部音声入力設定]画面が表示されたら、機器を選択。

### 音声だけを記録したい

[MENU]→[記録モード]→[音声]を選択。

### 動画の録音フォーマットを変更したい

[MENU]→[カメラ・オーディオ]→[♪オーディオ]→[録音 フォーマット]でお好みのフォーマットを選択。

### 録画モードを変更したい

[MENU]→[画質・画像サイズ]→[録画モード]で[1080] (1920x1080 30p)または、[720] (1280x720 30p)から 選択。

### バッテリー残量を気にせず記録したい

本機にバッテリーを入れた状態で、ACアダプター AC-UD10(別売)をつなぐ。

## 重要なお知らせ

### 使用上のご注意

- 本機をお使いになる前に、メモリーカードをフォーマットしてください。
- メモリーカードを誤った向きで無理に入れる、メモリーカードやメモリーカードスロット、コンテンツデータが破損することがあります。
- 万一、カメラや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかつた場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- 長時間、連続して記録し続けると本機の温度が上昇し、記録が自動的に止まることがあります。本機の温度を充分下げるために、10分以上そのまま放置してください。
- ・気温の高い場所では本機の温度上昇が早くなります。
- ・本機の温度が上昇すると、画質が低下する場合があります。温度が下がるのを待って記録することをおすすめします。
- ・本機の表面が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。
- ・本機で記録したコンテンツ以外は再生保証できません。
- ・ACアダプター(別売)はお手近なコンセントをお使いください。
- ・本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ・[録音フォーマット]を[Linear PCM]にして録画したMP4動画は、フレーレイディスクプレーヤーなどの一部の再生機器(ソニー製品を含む)やサービスで正しく再生できません。詳しい内容については、本機のサポートページ(<http://www.sony.jp/support/mvr/>)をご確認の上、ご利用ください。

### ソフトウェアについて

- 管理編集用ソフトウェアは以下のURLからダウンロードしてください。[www.sony.net/pm/mvr/](http://www.sony.net/pm/mvr/)

### 無線(Wi-Fi)について

- 飛行機などに搭乗するとき、一時的に無線に関連する機能をすべて無効することができます。[飛行機モード]を[入]にしてください。

### 機器認定について

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
- ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
- ・本製品を分解/改造すること
- ・本製品に貼りある説明ラベルをはがすこと

### 周波数について

- 本製品は2.4GHz帯で使用できますが、他の無線機器と同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

### この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

- 本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(免許を要する無線局)等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
- 1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。
- 3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本取扱説明書をご覧ください。

2.4DS / OF2

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDSSS/OFDM変調方式を採用し、干渉距離は20m以下です。

### ワイヤレスLANに関するご注意

- 紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- ワイヤレスLAN機能は、日本国内でのみ使用できます。

## 安全のために

→ 表面もあわせてお読みください。

### 警告表示の意味

この書類や製品では、次のような表示をしています。

**危険** この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果だけがや死亡にいたる危害が発生します。

**警告** この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果だけがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

**注意** この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

**注意を促す記号** 火災 感電  
**行為を禁止する記号** 禁止 分解禁止 ぬれ手禁止  
**行為を指示する記号** フラグをコンセントから抜く

### 水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

**危険** この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果だけがや死亡にいたる危害が発生します。

**警告** この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果だけがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

**注意** この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

**注意を促す記号** 火災 感電  
**行為を禁止する記号** 禁止 分解禁止 ぬれ手禁止  
**行為を指示する記号** フラグをコンセントから抜く

### ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

**危険** この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果だけがや死亡にいたる危害が発生します。

**警告** この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果だけがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

**注意** この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

**注意を促す記号** 火災 感電  
**行為を禁止する記号** 禁止 分解禁止 ぬれ手禁止  
**行為を指示する記号** フラグをコンセントから抜く

### 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置する、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

**危険** この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果だけがや死亡にいたる危害が発生します。

**警告** この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果だけがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

**注意** この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

**注意を促す記号** 火災 感電  
**行為を禁止する記号** 禁止 分解禁止 ぬれ手禁止  
**行為を指示する記号** フラグをコンセントから抜く

### 充電中の製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温などの原因となることがあります。

**危険** この表示のある事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

**警告** この表示のある事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

**注意** この表示のある事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

**注意を促す記号** 火災 感電  
**行為を禁止する記号** 禁止 分解禁止 ぬれ手禁止  
**行為を指示する記号** フラグをコンセントから抜く

### 長期間使用しないときは、電源を外す

長期間使用しないときは、USBケーブルを本体から外したり、電池を本体から外して保管してください。火災の原因となることがあります。

**危険** この表示のある事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

**警告** この表示のある事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

**注意** この表示のある事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

**注意を促す記号** 火災 感電  
**行為を禁止する記号** 禁止 分解禁止 ぬれ手禁止  
**行為を指示する記号** フラグをコンセントから抜く

### お預け

バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。

火災や感電の原因になることがあります。

**危険** この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果だけがや死亡にいたる危害が発生します。

**警告** この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果だけがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

**注意** この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

**注意を促す記号** 火災 感電  
**行為を禁止する記号** 禁止 分解禁止 ぬれ手禁止  
**行為を指示する記号** フラグをコンセントから抜く

### お預け

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

火災や感電の原因になることがあります。

**危険** この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果だけがや死亡にいたる危害が発生します。

**警告** この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果だけがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

**注意** この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

**注意を促す記号** 火災 感電  
**行為を禁止する記号** 禁止 分解禁止 ぬれ手禁止  
**行為を指示する記号** フラグをコンセントから抜く

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとの費用については、ご容赦ください。

### アフターサービス

調子が悪いときは必ずチェックを「故障かな?と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも不具合の悪いときは相談窓口(下記)にお問い合わせください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

修理に出される前に修理に出される前のご注意をご覧ください。

### 部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

### 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

### お問い合わせ窓口のご案内

「ミュージックビデオレコーダー」の最新サポート情報 (製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど)  
<http://www.sony.jp/support/mvr/>

ソフトウェアのサポート情報  
<http://www.sony.co.jp/support-disoft/>

「ミュージックビデオレコーダー」ホームページ  
<http://www.sony.jp/mvr/>  
「ミュージックビデオレコーダー」の最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

**http://www.sony.jp/support/**

### 修理相談窓口

フリーダイヤル